

学校運営連絡協議会

第1（名称）

この会の名称を「都立大泉桜高等学校学校運営連絡協議会」（以下、「学校運営連絡協議会」という。）とする。

第2（目的）

本校の教育活動が保護者・地域住民に理解され、かつ、本校の学校運営に保護者・地域社会の方々の意向が反映され、本校が地域に根ざし、より発展していくための学校支援組織とすることを目的とする。

第3（所掌事項）

学校運営連絡協議会は、学校運営に関する意見交換、教育活動の観察、学校評価等を通して協議を行い、校長に対し本校の学校運営、教育活動及び家庭・地域社会との連携について助言する。

第4（組織）

1 学校運営連絡協議会の委員は、校長の他、次のとおりとする。

協議委員は、校長が推薦し、都教委が委嘱する近隣住民代表1名、保護者代表1名、異校種学校長3名、公的機関より2名、学識経験者2名とする。

内部委員は、校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務主任の7名とする。

2 学校運営連絡協議会の中に評価委員会を置く。評価委員会は、学校連絡協議会が行う外部評価を計画・立案、実施、集計、学校評価報告書原案を作成する。

3 評価委員会の委員は、学校運営連絡協議会の委員の中から校長が委嘱する。

第5（任期）

委員の任期は第1回学校運営連絡協議会開催日から当該年度3月31日までとする。

第6（役員）

1 学校運営連絡協議会に次の役員を置く。

会長1名、副会長1名、学校評価委員会委員長1名、事務局長1名

2 会長は校長とする。

3 副会長、評価委員会委員長、事務局長は、校長が選任する。

第7（会の開催回数、開催時期）

学校運営連絡協議会は、6月、10月、3月の年3回開催する。

第8（会の公開）

学校運営連絡協議会は、原則として公開とする。ただし、会長が必要とする場合には、会長の判断により、非公開とすることができる。

第9（事務局）

都立大泉桜高等学校に学校運営連絡協議会事務局を置く。事務局に、事務局長を置き、主幹をもって充てる。

第10（その他）

この要綱は、校長が必要に応じて改正する。

（附則）

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

(附則)

この要綱の一部を平成18年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成19年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成20年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成22年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成28年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成29年4月1日より改正する。

(附則)

この要綱の一部を平成31年4月1日より改正する。

2 令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立大泉桜高等学校 学校運営連絡協議会(全日制課程)

(2) 事務局の構成 主任教諭(総務部主任兼務)＝事務局長 計1名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室室長、主幹教諭(教務・生活指導・進路指導)、主任教諭(総務) 計7名

(4) 協議委員の構成

学識経験者(元都立大泉桜高等学校開設委員)、PTA会長、都立特別支援学校長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣町会長、保護司会分会長、警察署係長、産業医 計9名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

新型コロナウイルス感染症対策のため、すべて書面開催

(1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年6月

協議委員委嘱、委員の紹介、学校運営連絡協議会趣旨説明、学校経営計画、学校経営報告、本校の現状と課題等説明、各分掌・年次からの現状と課題等説明、意見交換。

第2回 令和4年11月

本校の現状と課題等説明、各分掌・年次からの中間報告、評価委員会から学校評価アンケート(案)の報告、意見交換。

第3回 令和5年3月

学校評価アンケート結果の報告及び課題等に関する協議、本校の教育活動について報告、次年度に向けた方向性の確認

(2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和4年11月

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討。
学校評価アンケートの項目などを提案。実施に向けた検討。

第2回 令和5年3月

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）学校評価の観点

「学校への理解」、「学校の意欲」、「学校の実践」等の観点で実施する。

（2）アンケート調査の実施時期・対象・規模・回収率

昨年度から、地域以外は、すべてオンライン回答とした。

- ・12月 全校生徒（長期欠席者を除く、12月末現在） 481/530人（90%）
- ・12月 保護者：全年次 273/530人（52%）
- ・12月 地域住民：大泉三丁目、四丁目町会役員、青少年健全育成委員 20人
- ・12月 教職員：専任教員（教科担当） 35/42人（83%）

（3）主な評価項目

教育活動全般、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進

（4）評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

- ・生徒・保護者とも、単位制の特徴を活かした本校の教育活動についての満足度が高く、大泉桜高校に入学してよかったと思っている。
- ・ルールやマナー等の生活指導について、きちんと指導されていると評価されている。
- ・本校の進路指導は適切に行なわれていると評価されている。
- ・保護者へのアンケート回答で、設問により「わからない」の回答が多い。
- ・地域住民へのアンケート結果では、「わからない」の回答が多く「大泉桜高校の教育活動は、地域社会の意見や要望を取り入れている」の評価について、学校としての取り組みの一層の推進が求められている。

（5）評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）※（ ）内は前年度の数値

<生徒のアンケート結果>

19の質問項目について、生徒は15項目で「そう思う、ややそう思う」が7割を超えている。生徒で7割を割った項目は以下の通り。

- ・学校行事は活発に行われている。（51%）R3→63%
- ・本校は、地域と積極的に交流している。（49%）R3→50%
- ・本校の施設・設備は、充実している。（64%）R3→64%
- ・部活動は活発におこなわれている。（67%）R3→67%

<保護者のアンケート結果>

20の質問項目について、保護者は12項目で「そう思う、ややそう思う」が6割を超えている。保護者で6割を割った項目は以下の通り。

- ・学校行事は活発に行われている。（50%）R3→57%
- ・部活動は活発におこなわれている。（54%）R3→48%
- ・本校は、体罰や暴言、イジメ、SNSのトラブルをなくすため、積極的に取り組んでいる。（49%）R3→47%
- ・本校は、防災教育を積極的におこなっていると思う。（47%）R3→49%
- ・クラスでの活動が活発におこなわれていると思う。（40%）R3→45%
- ・本校は、地域と積極的に交流していると思う。（29%）R3→32%
- ・本校の施設・設備は、充実していると思う。（59%）R3→53%
- ・本校は、国や都が取り組んでいる働き方改革の実現を図っていると思う。（34%）R3→33%

一方で生徒8割、保護者7割を超えているのは次の6項目である。

- ・単位制の特長を活かし、少人数授業や選択科目が充実している。（生徒91%・保護者89%）R3→生徒91%・保護者88%

- ・興味や関心、意欲のわく授業がおこなわれている。
(生徒83%・保護者75%) R3→生徒82%・保護者70%
- ・本校は、生徒の健康管理や安全に関して適切に取り組んでいる。
(生徒84%・保護者78%) R3→生徒84%・保護者79%
- ・本校における履修指導・進路指導等は、自分の将来にとって有益である。
(生徒91%・保護者81%) R3→生徒88%・保護者79%
- ・「キャリアガイダンス」は、進路選択や科目選択等に関して役立っている。
(生徒90%・保護者80%) R3→生徒87%・保護者75%
- ・大泉桜高校に入学して良かったと思っている。
(生徒86%・保護者90%) R1→生徒86%・保護者88%

<教職員のアンケート結果>

20の質問項目について、教職員は14項目で「そう思う、ややそう思う」が7割を超えている。教職員で7割を割った項目は以下の通り。

- ・本校は、生徒会活動、学校行事を活発におこない、社会貢献できる生徒の能力・態度を育てている。
(59%) R3→57%
- ・本校は、部活動の活性化に取り組んでいる。(49%) R3→40%
- ・生徒は、本校の生活指導方針を理解し、守っている。(76%) →49%
- ・本校は、保護者や地域と連携しながら教育活動を実践するとともに、生徒、保護者、地域の声を受けとめ、学校の改善を図る努力をしている。(68%) R3→69%
- ・本校は、生徒に対して教育目標を周知している。(56%) R3→67%
- ・計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図っていると思う。(59%) R3→66%

20の質問項目のうち、以下の5項目については、「そう思う、ややそう思う」が9割を超えている。

- ・授業では教材や教え方に様々な工夫をしている。(98%) R1→94%
- ・興味や関心、意欲のわく授業をおこなっている。(98%) R1→94%
- ・本校は、生徒の健康管理や安全に関して適切に取り組んでいる。(90%) R3→92%
- ・本校は、生徒の話や声を聞き、生徒の人権に配慮し、心身の悩みに応える努力をしている。
(90%) R3→94%
- ・本校は、生徒一人一人の適性や希望などに応じ、適切な履修指導・進路指導をおこなっている。
(88%) R3→97%

<地域住民のアンケート結果>

9つの質問項目のうち、2項目において「そう思う、ややそう思う」が6割を超えている。

- ・大泉桜高校の生徒は、交通ルールやマナーを守っていると思う。(77%) R3→65%
- ・大泉桜高校は、熱心に部活動がおこなわれていると思う。(85%) R3→65%

一方で次の3項目は「そう思う、ややそう思う」の比率が3割未満であった。

- ・大泉桜高校は、ボランティアなど社会貢献のできる生徒を育てていると思う。
(62%) R3→25%
- ・大泉桜高校は地域の活動に、協力していると思う。(54%) R3→20%
- ・大泉桜高校は、国や都が取り組んでいる働き方改革の実現を図っていると思う。
(38%) R3→10%

<アンケート結果総括>

今年度も、コロナ対策のため、学校行事・部活動の制限、地域の方との接触制限等、例年と異なる中での教育活動であった。しかし、アンケート結果は、生徒・保護者の満足度について昨年度と同様である。多くの保護者は、単位制の特徴を活かした本校の教育活動への満足度が高く、大泉桜高校に

入学してよかったと思っている。ルールやマナー等の生活指導も評価が高い。一方、コロナ対策により、学校外部からは、本校の教育活動が見えにくいので、地域との連携、広報活動の工夫が必要である。アンケートの回収にあたっては、大泉町3丁目町会の皆様から御協力を得ることができた。回収数もより向上するよう、日頃の交流に努めていく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校に対する満足度は高く、本校の教育活動が理解されていることが窺える。
- ・生徒の健康管理やマナー、ルールを守ること等の生活指導とキャリアガイダンス、進路情報の提供等進路指導に対する取り組みは高く評価されている。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・高い評価を得ている項目について、今後も維持していけるよう、一層の工夫が必要である。
- ・自転車通学生徒への交通ルール・マナーの指導をさらに強化していく必要がある。
- ・コロナ対策の中での、学校行事と部活動の工夫・活性化と地域との交流の工夫が必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学習指導

- ・大学進学に向けた学習指導の徹底。
- ・生徒の学習意欲を高める授業や補習指導の継続、オンライン学習の推進。
- ・各教科の基礎基本を身に付けさせる指導の工夫・充実。

（2）生活指導

- ・生徒による学校行事の活性化。
- ・部活動（運動部）の活性化
- ・交通ルールやマナー、服装・頭髮に関する校則等、規律遵守の指導の徹底と必要な見直し。

（3）進路指導

- ・進路実績の向上。
- ・「キャリア教育」の内容の充実を図る。

（4）広報活動

- ・コロナ対策の中で積極的な広報活動の工夫・充実を図る。

（5）その他

- ・地域との連携
- ・開かれた学校づくり

6 評価委員会報告

- ・コロナ禍の中で、よく頑張っている。
- ・今年度はコロナ禍により、貴校の活動に接する機会がありませんでした。
- ・今後もよろしく願いたい。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

職員会議及び企画調整会議に協議委員は、出席していない。

8 その他

- ・昨年度までは、記名式のアンケートであったが、今年度は、無記名式とした。